

東京大学全学研究科等横断教育プログラム ASNET 科目 IT ASIA 128

Surviving Cancer in Asia

アジアのがんにおける Universal Health Coverage はどうあるべきなのか？

科目番号 4971280

あなたは あなたや大切なひとが 癌になったとき
癌医療を支えるどんな社会のしくみがあったらいいとおもいますか？

Universal Health Coverage は、全てのひとが保健医療サービスを
経済的困難を伴わずに享受できることを目指す概念です。

アジアの未来はあなたの未来です。
専門領域を超えたあなたの智慧で、一緒に考えてみませんか？

冬学期月曜 5 時限

16:50-18:35

医学部教育研究棟

第1セミナー室

詳しくは <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/node/7368> (ASNET)
<http://www.siccn.org/> (赤座研究室)

10/5

赤座英之 / 東京大学教授

アジアのがんと UHC

Resource stratified guideline はアジアの
がんの UHC の救世主になりうるか？

10/19

堀江重郎 / 順天堂大学教授

UHC の臨床評価

癌治療における在宅医療と QOL が UHC にもたらすものはなにか？

10/26

園田茂人 / 東京大学教授

アジアの人々はがんという疾病をどうとらえているのか？

あなたはがんになったときどんな UHC があるべきだとおもいますか？

アジア学生意識調査の方法と課題

11/9

武見敬三 / 参議院議員

G7 サミットと UHC

日本はアジアに向けて今何ができるのか？

11/20

橋本英樹 / 東京大学教授

コミュニティーベースで考えるアジアの癌の UHC

お金で買えない医療とはなにか

11/30

福田敬 / 国立保健科学院

アジアの癌医療における医療経済評価の現状と課題

各国の医療制度にみる QALY の効用と限界

12/7

企業講演

ヘルステクノロジーが切り拓く未来

12/18

野崎慎仁郎

WHO 神戸センタープログラム & 学生発表 討論

12/21

野木森雅郁 / アステラス製薬会長

製薬企業は UHC という概念にどのようにむきあっていくべきなのか & 学生発表

連絡先：東京大学大学院 情報学環・学際情報学府「総合癌研究国際戦略推進」寄付講座 赤座研究室

担当：河原 norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp